

フォレスト in Nagano

第63号

長野県林業労働力確保支援センターだより



写真：林業就業相談会「長野森林組合の皆伐現場の見学」

●指導してくださった堺班長さんのコメント

高性能林業機械での伐採もあるが何といってもチェーンソー伐倒が基本。受口・追口・ツルのセオリーはあるが、伐る木は一本一本全部違うから難しいし、面白い。

●参加者Aさんの感想

実際の林業の現場を見学できて、林業のイメージが具体的になった。大きな機械もすごかったけれど、チェーンソーでいとも簡単に大きな木を切り倒す技術には目を見張った。

目 次

林業就業相談会	1
認定事業主・雇用管理者研修会、相談会	2
共同就職説明会	4
FLの現場探訪	5
林業就業相談会・就業支援講習	6
FW研修生レポート	8
安全装備(チェーンソー作業編)	10

認定事業主・雇用管理者研修会、相談会

安全な職場、儲かる林業を目指し、経営者も日々努力を重ねています

林業事業体の事業主、雇用管理者を対象とした研修会を次の通り実施しました。いずれも識者による講演をメインに、労働局、長野県からの情報提供や新たな取組として相談会を併せて実施しました。この相談会には合計7件の相談が寄せられ、両講師、情報提供者等から十分に時間をとり、丁寧な回答をしていただきました。

開催日	開催場所	講師・演題	参加者数
1月15日（火）	もくりゅう館 (安曇野市)	塙原昭雄氏（塙原キャリアコンサルタント 代表） 「あなたの会社は大丈夫？」～労災撲滅は経営トップの牽引力～	19事業体 (21人)
1月22日（火）	上小森林センター (上田市)	山口正人氏（山口社会保険労務士事務所 代表） 「あなたの会社は大丈夫？」～事業主が知るべき「働き方改革」～	20事業体 (20人)



●講師：塙原 昭雄 氏（塙原キャリアコンサルタント事務所 代表）

現在、林業・木材製造業災害防止協会 林材業労災防止専門調査員も務める

【林材業労災防止専門調査員とは】

都道府県ごとに林業・木材製造業災害防止協会から委嘱され、事業場に対する労働災害の防止に関する技術的な指導及び援助、現場パトロール、労働災害防止活動への支援、労働災害発生状況の調査などを通じ、労働災害防止に努めている。

●講演：演題 「あなたの会社は大丈夫？」～労災撲滅は経営トップの牽引力～

- ・半世紀に亘り様々な産業分野の労災事案の調査等を行う中で、女手一つで育てた一人息子を労災で亡くした母親の無念の思いや、1億6千万円を超える損害賠償が命じられた事例などに接するにつけ、労災の悲惨さを嫌というほど感じてきた。
- ・事業主、雇用管理責任者たる皆さんには被雇用者を管理し守る責任がある。労災の悲惨さを常に意識し、まずは基本の安全管理5項目(①安全衛生教育、②リスクアセスメント、③安全な機械の配置と安全作業、④安全衛生管理体制の整備、⑤作業現場管理)を徹底してほしい。
- ・情報が溢れる時代だが、労災撲滅の行動を決定・実行するのは事業主・経営者である皆さん自身であることを深く自覚し、率先垂範してほしいし、そのうえで、組織全体で取り組まなければ効果は上がらない。
- ・自分の意思を組織に浸透させていくには、現在の組織風土と自分自身の性格をキチンと認識しておく必要があるので、お配りした「事業所の安全に関する風土調査票」「エゴグラム質問紙」を活用されたい。



●講師：山口 正人 氏（山口社会保険労務士事務所 代表）

【社会保険労務士とは】

事業主に代わって、労働や社会保険に関する「書類の作成」、その書類に係る「手続き」、関連行政機関に対して行う主張・陳述などの「事務代理」が通常の仕事です。

山口氏は特定社会保険労務士ですが、これは憲法、民法の専門知識も習得し、試験に合格した者に与えられる資格で、「紛争解決手続代理業務」も行えます。

●講演：演題 「あなたの会社は大丈夫？」～事業主が知るべき「働き方改革」～

- ・働き方改革を推進するための関係法律の施行日が迫っており、林業事業体についても、これらに対応した就業規則の改定等を遅滞無く行っていく必要があるので、特に留意が必要な事項について解説を行う。
- ・時間外労働の上限規制については、年間360時間など原則は承知されていると思うが、変形労働制を採る場合は少々複雑になるので、配布した事例を参考に、割増賃金の支払いも含め、的確に対処されたい。

- ・年次有給休暇については、年間5日間は計画的に取得させが必要になる。また、消化しなかった有給休暇は翌年度に限り繰り越すことができるので、適正な運用に留意されたい。
- ・労働時間の把握義務については、押印するだけの出勤簿では不十分なので、タイムカード方式など確実に「時間」を把握できる方法に切り替えられたい。
- ・兼業、副業については、法令では前向きに認める方向だが、労働時間の全体像を把握するのが難しいなどデメリットが大きいので、当面は見合せたほうが良いと思う。

情報提供

長野労働局職業安定部職業対策課

高齢者対策担当官 井原 勝宏 氏

- ・県内の有効求人倍率は1.67倍と高水準が続き、売り手市場・採用困難な状況。
- ・求人票の賃金で業種ごとに比較すると、林業は中位に位置し、決して低くはない。
- ・H29はハローワークでの求人活動で64人の採用が決まった。求人票に合わせて画像データも受け付けており、更なる活用を。

長野県林務部信州の木活用課

担当係長 上田 岳義 氏

- ・労働災害情報を毎月届けているので、活用し安全作業確保に役立ててほしい。
- ・県内林業労働者数はH29に1,594人となった。
- ・減少率は下がったものの、減少傾向は続いている。行政としても人材の確保は大きな課題。
- ・新たな森林経営管理制度、意欲と能力のある林業事業体の基準等の説明会を近々行う予定。

研修成果を現場で活かす

平成29年度、当該研修は2回開催しました。1回目の講師は今年度と同じ塚原氏。「安全は経営トップの決意から」と題し、経営者が「安全第一」の意識を強く持つとともに、その意識を従業員側に確実に伝え、更にマンネリ化させないことが重要との講演をいただきました。講演後のグループ討議では、経営者の理念を従業員に浸透させる具体的な方法など、参加者同士での情報共有や意見交換を行いました。

2回目の講師は藤野正也氏（山梨県富士山科学研究所研究員）。「現場力を引き出す経営者の考え方」と題し、経営を良くするには、経営者が技能者と一緒に現場力を上げていく取組が重要で、技能者の①個人の能力×②やる気×③仕組みを向上させる必要がある。やるべきことは様々だが、まずは、「現場の人の話を聞く時間を作ること」と「経営理念・ビジョンを明文化すること」を実行してほしい、との講演がありました。

これら研修から1年が経過しますが、グループ討議で報告された取組の一つを改めて紹介します。

長野森林組合の全員検討会

長野森林組合では、支所ごとに、4日休業以上の労災事故が発生した場合、支所の全班、全員が事故現場に集まり、発生経過や原因、防止策や今後の対応計画などを検討するのだそうです。検討会を開催することで半日、1日、支所全体の仕事が止まることにもなるし、場合によっては被災者から直接説明を受けることもあります。本人にとっては辛い検討会になってしまふかもしれません、安全確保には代えられません。

関野専務さんによれば、「内勤職員を通じて、各現場職員に情報を周知する方法もあるが、臨場感が薄れてしまい、労災抑止効果は小さいと考えている。」「現場で意見を交換することで、自分ごととして捉えやすくなるし、効果的な改善策も生まれやすくなる。」とのことです。

ニセアカシヤの裂けによる被災現場



共同就職説明会

長野労働局の許可を得て、毎年2回、共同就職説明会を開催しています。主に現場技能者となる人材を確保するために、求人事業体が一堂に会し、ブースを構えて求職者等の相談に応じ、お互いの条件が合致すれば採用が決定します。事業体にとって多くの求職者に自社を直接アピールできるチャンスですし、求職者にとっては効率的に就職先候補の情報を仕入れることのできる絶好の機会です。

平成30年度は、次の通り開催し、2月末で5人の採用が決定(内定)しています。

開催日	開催場所	求人事業体		来場者		県外からの来場者住所
		事業体	求人	県内	県外	
H30.9.1	岡谷市	22	37	12	12	北海道、東京、千葉、大阪、京都、岡山ほか
H31.2.17	テクノプラザおかや	22	39	30	14	神奈川(4)、栃木、東京、埼玉、鳥取ほか

2月17日の参加事業体からは、

来場者は少ないのでないかと心配していたが、当方には面談者が意外に多くあり、ありがたかった。来場者の居住地が地域的に偏っていたことも幸いしたかもしれない。

面談者は8名と予想を上回ったが、就職希望者は確保できなかった。

バイト感覚で林業の仕事を行いたいという人もいたが、地域の薪の集荷事業を行っている組織を紹介して、喜んでもらえた。

大学3年生の就職希望者には、「慌てず、夏休みにでも現場見学において。」と案内した。

現場の実態をしっかり把握したうえで、本当に就職したいかどうか判断してもらえばよい。



今回は面談者のうち3人と二次面接をすることになった。前回の1人と合わせ、4人の採用を決めたい。

といった感想などが聞かれました。人材を確保できた事業体、できなかった事業体、様々でした。

また、来場者からは、

- ・悩みや相談を聞いていただき、とても親身にアドバイスもいただけて、感謝いたします。
- ・林業について詳しく知ることができました。
- ・始めに会社概要についてお聞きでき分かりやすかった。質問にも楽しい雰囲気で答えていただけて良かった。
- ・業界の内容が分かり、参考になりました。

など、概ね好評でしたが、

- ・良い点ばかり説明して、デメリットを尋ねると、嫌な対応になるのはどうかと思う。お互い納得した上で仕事に就いたほうがいいと思うのだが。
- ・事前に各事業体の仕事や内容を公開してほしい。時間も無い中で面談する事業体を選びやすいから。
- ・林業の実際を知ることができる機会をもっと増やしてほしい。

といった意見、要望も寄せられ、更なる工夫、改善の必要性を再認識させられました。

オガサワラ林業の人材確保

9月1日は、37名の求人に対し来場者は24名と、これまでにない厳しい状況でしたが、そんな中でも2名の採用を決定したオガサワラ林業さんにお話を伺いました。

Q：お揃いのTシャツで参加されましたか、狙いは？

A：Tシャツは入社3年目の社員の発案で製作し、普段から社員全員が着用しています。人材確保に関して特段狙いがある訳ではありませんが、弊社は若い社員が多いので、その若さのアピールにはなったと思います。

Q：社会保険労務士の方が同行されていましたが？

A：たまたまスケジュールが空いていた社労士さんが「説明会の様子も見てみたい。」とのことでしたので同行願いました。労働条件や社会保険の専門家ですから、相談者にとっては安心材料になったかもしれません。

Q：説明会だけで採用を決定するのは難しいのでは？

A：採用が決まった二人のうち、一人は知人の紹介で、もう一人は弊社のホームページを介して、事前に接触はしていました。今回は、「折角の機会だから他社の情報も得たうえで、最終決定をしたら。」ということで説明会への参加を勧めました。結果、弊社を選んでもらったので内心ホッとしています。



FLの現場探訪

平成30年度のフォレストリーダー研修を修了した相澤昭嘉さん（長野森林組合）の現場を訪ねました。

3人編成で生産間伐を行っている約5haのスギ林で、班長の相澤さんは作業道開設を担当し、伐開、土工を一人で行います。相棒のコマツPC138USはリース機ながら4年来の付き合い、アワーメーターは5,000時間に達しています。「バケットの爪が丸いのでは？」の問い合わせに「明日、新品に替わる予定。」とのこと。使い込んでいますね。他にハーベスタ、スイングヤーダ、フォワーダが配置されていて、ハーベスタを遊ばせない工程を組んでいます。相澤さんは搬出が完了するのを待たず次の現場へ移動し、作業道開設を先行させる予定とのことでした。



▲左から本山さん・相澤さん・田沼さん

▼几帳面な検査は性格を反映？



▲作業道開設はバックホウ1台で

林業就業相談会・林業就業支援講習

林業界への入口。現場の実態、チェーンソー操作など実体験できます。

林業への新規就労を検討している方々を対象とした講習等を次の通り実施しました。参加者それぞれに他では得難い情報収集や経験をしていただけたようです。多くの方が長野県林業の担い手に仲間入りしてくださることを期待しています。

コース	開催内容	参加者内訳			県外参加者住所
		計	県内	県外	
林業就業相談会 1 (H30.7.20実施)	皆伐地の作業見学 原木市場見学	9	4	5	埼玉県、神奈川県、愛知県2、 京都府
林業就業相談会 2 (H30.10.12実施)	機械地拵え作業見学 原木市場見学	7		7	栃木県、群馬県、埼玉県、 東京都2、新潟県、福岡県
林業就業支援講習 (H30.8.6～31実施)	チェーンソー作業講習 測量、測樹実習 等	8	3	5	北海道、新潟県、石川県、 京都府、岡山県

林業就業相談会

1回目は長野森林組合様が受託している国有林の皆伐の現場、2回目は同じく機械地拵えの現場を見学した後、長野県森林組合連合会様が運営する原木市場にうかがいました。

現場の案内をしていただいた森林組合の堺班長さんは十数年前に1ターンで現職に就かれたということで、機械操作やチェーンソー技術だけでなく、就業に至る経験談も参加者には大変参考になった様子でした。

原木市場では、信州プレミアムカラマツの事例など、木材の価値を引き出し、少しでも高く売っていく工夫の大切さを小池所長さんからお聞きしました。



◀市場に出材された信州プレミアムカラマツを見学



▼堺班長が操作する高性能林業機械（ハーベスター）

★ 堀班長コメント★

移住に当たって優先するものは人それ。自分の場合はここ信濃町に住むことを最優先とし、次に就職先を探した。

元々森に関わる活動をしていたので、今の仕事に就くのに抵抗はなかった。11年やっていても技術的にはまだまだ満足していない。一生勉強ということかもしれない。

林業就業支援講習

夏休み期間の8月に、お盆の週を除く延べ15日間の講習を行いました。ベースとなったのは塩尻市にある長野県林業総合センターです。試験研究と教育指導の機能を併せ持った施設で、研修生用の宿泊施設も備えています。カリキュラムは伐木等業務に係る特別教育、小型車両系建設機械運転講習の他、刈払いや立木の伐倒などの林業作業を実地で体験する時間が多く取り、林業への適性を自己判断していただくことも意識した内容です。最終日には少し先輩のFW2年生との情報・意見交換を行い、事業体の理念や経営方針に意識を向けることの大切さや田舎暮らしの実際、地域とのつながりなど、林業技術以外にも得るところが多い時間となりました。



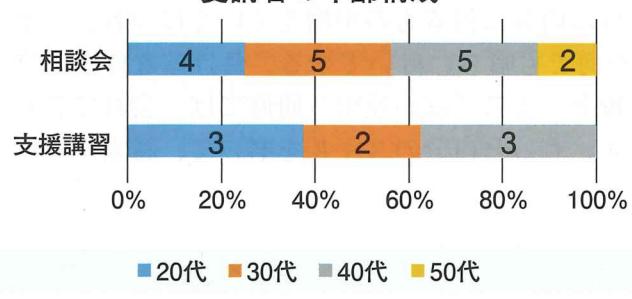
チェーンソー操作にも多少ぎこちなが…



「少し先輩」の体験談に真剣に聞き入る

参加者アンケート

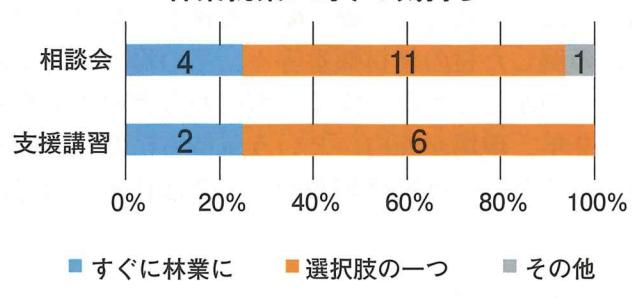
受講者の年齢構成



受講者の就業状況



林業就業に対する気持ち



開催情報を何で知りましたか



相談会

- ・昼食時にリーダーの方から、林業を選んだ理由を聞くことができたことが一番の収穫です。
- ・現場の班長さんは格好良かった。憧れます。
- ・限られた時間だがもっと様々なものを見てみたかった。5、20日講習を受講したいと思えた。

支援講習

- ・林業という仕事について多くを学ぶことができた。現場の人にしか分からないような話も聞けた点が良かった。
- ・実地講習をもっと増やしてほしい。実際に山で働いている方の話が一番ためになった。

「緑の雇用」研修 128人が修了 ~研修レポートから~

平成30年度の「緑の雇用」集合研修には1、2、3年生合計で、134人が参加し、128人が修了証を手にしました。林業の世界に飛び込んで間もない彼らは、研修を通じ色々なことを吸収しているようです。

■1年生

依田純宏（佐久森林組合）



このような緑の雇用の制度があるということを、林業を始めて知ったのですが、税金でやらせてもらっていることにびっくりしたと同時に、ちゃんと真面目に受けなければならないと思い、およそ1年やってきました。実際にやってきた先輩方の話は、これから林業をやっていく者として、すごく勉強になりました。同じ林業を始めた仲間とも知り合えたし、2年目3年目も楽しみです。

富澤耕太郎（企業組合 山仕事創造舎）



これから林業に期待することは補助金からの脱却。補助金なしでは成り立たないのも現実だが、それを当たり前とせず、補助金脱却の目標を持つことが大切だと思う。木をどのように売り、活かしていくかを考えることは大変なことだが、とても楽しい。

もう一つは林業教育。自分は長野県林業大学校出身だが、オーストリアの林大との差にとても驚いたのを覚えている。海外の良いところを取り入れることは可能だと思うし、できることがあれば自分も協力したい。

木下 剛（有）北原土木）



今の仕事はとてもきつく、入ったときは、これは本当にやっていけるのだろうか、正直厳しいと実感しました。けれど、日に日に自分に得るものが増えしていくにつれ、仕事に対する思いが強くなってきました。「何が何でも喰らい付いてやる。負けるな俺！」常にそんな思いを胸に頑張っています。国の税金による「緑の雇用」研修では、会社で教わること以外にも沢山のことを教えてくれます。もっと自分のスキルを磨いて、将来の森を少しでも助けられたらと思います。

■2年生

木谷幸亮（ひのき精香株）



木を伐り山から材を出す。文字にすると非常に単純だが実際は難しい。架線集材であればセンターの開け方、柱の選び方、滑車の設置位置など。線を張った後も、集材しやすい木の倒し方、作業をスムーズにするための倒した材の集材順番等々、その場その場で素早い判断が求められる。これら技術の一つ一つがとても奥が深く、習得から習熟までを考えると気が遠くなることがある。就業して2年、現場が面白いという気持ちに変わりは無い。出来ることが増えるのは嬉しいし、新しいことへの挑戦は刺激的だ。今は技術の取得に手一杯だが、これから自分に期待したい。

多田諒人（平澤林産有）



林業を始めて1年が経ち、色々な仕事をやらせてもらって去年よりはできるようになりましたが、先輩方のようにはできないので、もっと精進していきたい。今年の研修も同じ年数の人達が集まっているので話しやすく、仕事上の悩みなども打ち明けることができ、とても助かります。去年の復習のような形で行っていただけて、仕事をしていて疑問に思ったこととか、去年じゃわからなかったことももう一度話を聞けるので、より理解ができる仕事でも活用できるようなカリキュラムがとても勉強になりました。



上野由希菜（栄村森林組合）

長野県林業大学校を卒業し現在の職場に就労して2年が経過しました。FW2の研修の中で、同じ現場で働く同世代の方々と一緒に行った伐倒作業が勉強になりました。林大では、伐倒作業の十分な時間なく自分では不得意な実習でした。就職してから、指導員に地域特有の根曲りの安全な伐倒作業を学び、研修では多種多様な道具の使い方や、栄村には無いアカマツの伐倒作業など学ぶことができました。また研修生は就労して2年目の人々ばかりですので共通の悩みが多く、仕事について、技術の向上についての相談など気楽にでき、とても実り多い研修でした。今後はFW3の研修に進み更に技術の向上と森林・林業の知識を学びたいと思います。

■3年生



吉澤貴徳（企業組合 山人）

最初はチェーンソーの使い方すらおぼつかなかった自分たちが、今では高性能林業機械を乗りこなし、林業界の未来を見据えて討論できるようになりました。多くの人の交流で、林業界の現状と本来あるべき姿が見えました。自分達の未来を切り開けるのは自分たちだけ。FW研修で学んだことを活かし、同期の人達とまずは長野県の林業を盛り上げていき、日本全体を盛り上げていきたい。



大谷宏規（株）小山林産

林業について全く知識が無いまま林業界に飛び込んだ私は、林業の多岐にわたる業務についていけるのかという不安を感じたこともありましたが、他の事業体の様々な方々と意見交換をするにつれ、自分ができる範囲を精一杯行うことがその事業体の利益につながるのだと考えるようになりました。仕事に対する責任の重さから少し解放された気がしました。

FW3年間で学んだ知識、技術はもちろんですが、共に学んだ他の事業体の方々との交流が今後の大きな財産になるように思います。同じ年代に林業に携わり、同じ知識同じ技術の者同士が互いの業務で得た経験を話し合い共感することはどの講義よりもリアルに感じ、今の業務に影響しています。3年間共に学んだ仲間との出会いがこの研修を終えて一番今後の業務、林業に対する志を示してくれたと思います。



田代健太（木曽南部森林組合）

FW研修では、たくさんの資格を取らせてもらいました。以前の職場では従業員が何百人といで、同じ枠のこのグループの人としか見られなかったのですが、今の事業体では自分個人を見てくれます。自分を成長させてくれようとしています。そして自分を成長させてくれた要因の大きな一つは、このFWでした。他の職種にこういった研修制度は無いと思います。これから林業の仕事に携わる人達がこの仕事で良かったと思えるように、FW制度を続けていってほしいです。

■林業指導員からのエール

研修生が一番お世話になった林業指導員。今年度は4人の指導員さんに1、2、3年生合わせて14日間の現場指導等をお願いしました。そんな林業指導員を代表して大月國晴さんからエールをいただきました。



明日を担う研修生の皆さんへ

私には夢があります。それは男の子の将来なりたい職業に「フォレスター」が入ることです。大自然の中での仕事。一日一日の積み重ねによって作られる技術。同じ木ではなく、毎日が応用の連続です。そんな「フォレスター」。地域に根ざした森林業のプロフェッショナルに成長していただくことを願っています。

そして、自分の身体を事故なく長く使い、安全作業で!!

チェーンソー作業時の標準的な安全装備

保護具等の選定に当たっての留意事項（「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」から抜粋）

フェイスガード：木片等飛来から顔面を保護

ヘルメット：物体の飛来・落下の危害防止
墜落による労働者の危険防止

保護帽規格 適合

型式検定の標章 貼付

氏名・血液型・RH± 記載

手袋：防振・防寒に役立つ厚手のもの

イヤーマフ：エンジンの騒音から耳を保護

上着（長袖）：肌の露出が少ない

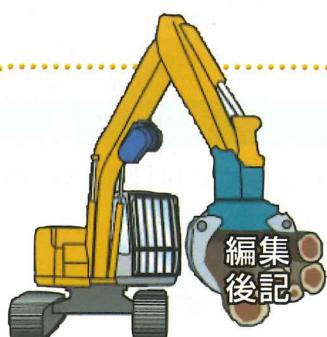
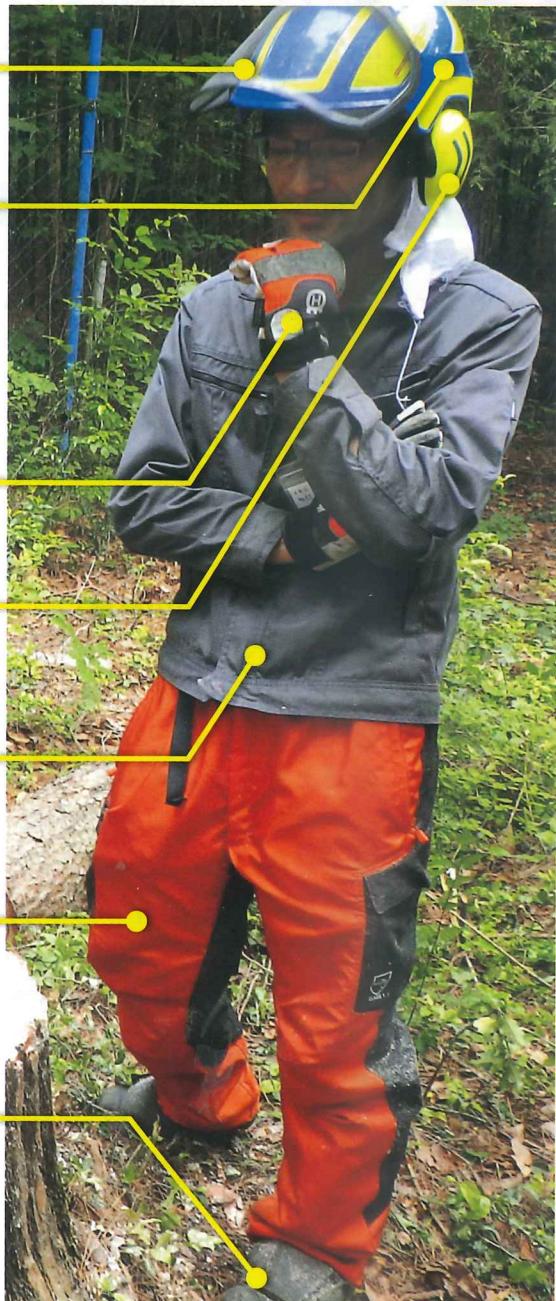
袖・裾締りが良い

防護ズボン：JIS T8125-2適合

一旦刃が当たったものは使用不可

安全靴：JIS T8125-3適合

つま先、足の甲等に保護部材
ソーチェーンによる損傷防止



長野県林業大学校在勤中に、学生が発した「新林業の4K=4S」を機会あるごとに使わせてもらっている。「我々が目指す新しい林業は、怪我せず、効率的に、格好良く、稼ぐ(4K)=Safety、Smooth、Smart、Salary (4S) だ。」というもの。全ての林業関係者が目指している方向だろう。

本誌に登場した若者たちも、安全に林業の仕事を全うし、豊かな人生を送ってほしい。そのために、当財団も含め関係者それぞれが役割を果たしていきたいものだ。（山口）

発行者 〒380-0936 長野市岡田町30-16 長野県林業センタービル4F

一般財団法人 長野県林業労働財団（長野県林業労働力確保支援センター）

電話：026-225-6080 FAX：026-225-6557 <https://www.nrinrou.net/>